

## 開倫5S学校の挑戦

—第2回世界5Sサミットで考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：開倫塾では5S活動がさかんなようですね。

A：(林明夫：以下省略)はい。開倫塾の創業の地であり、本部のある栃木県足利市は働く人々の自主性を尊重した楽しくやる5S活動がさかんです。足利商工会議所の中に「足利5S学校」をつくり、製造業だけでなく、おそば屋さんやスポーツ用品店をはじめとするサービス産業、市役所や学校、福祉施設など様々な業種が街を挙げて5Sに取り組んでいます。国内外からの視察も毎週のようにありますので、経済産業省のアドバイスで2012年に第1回、本年11月6・7日に第2回の世界5Sサミットを開催。第2回も19か国からの代表も含め300名以上の参加で盛り上がりました。

Q：開倫塾では「開倫5S学校」を昨年キックオフしたそうですね。

A：はい。「足利5S学校」の御指導で「5Sインストラクター」を毎年育成すると同時に、開倫塾の62校舎すべてで社員の自主性を尊重した「開倫5S学校」を昨年秋にキックオフしました。塾生、特に受験生にも5S活動を奨励しています。

Q：どのような内容ですか。

A：例えば、「受験生こそ5Sを身に着けよう、整理・清掃・整頓・清潔・躰は人生の宝物」というテーマで毎月1回発行の開倫塾ニュースNo.311、2014年12月号巻頭言で、私は塾長として次のように5Sを奨励しています。

Q：「5S」とは何ですか。

A：(林明夫：以下省略)「5S」とは

(1)「整理」(seiri)、<sup>せいり</sup>「清掃」(seisou)、<sup>せいそ</sup>「整頓」(seiton)、<sup>せいとん</sup>「清潔」(seiketou)、<sup>せいけつ</sup>「躰」(shituke)<sup>しつけ</sup>  
の5つのことです。

(2)ローマ字で表記すると、すべてSで始まるので「5つのS」、「5S(ごえす)」といいます。

Q：一つ一つの「S」の意味は何ですか。

A：(1)「整理(seiri)」とは「不要なものを捨てよう」ということです。

(2)「清掃(seisou)」とは「常にきれいにしよう」ということです。

(3)「整頓(seiton)」とは「すぐに取り出せるようにしよう」ということです。

(4)「清潔(seiketou)」とは「整理、清掃、整頓の3Sを維持しよう」ということです。

(5)「躰(shituke)」とは「決められたことをきちんと守ることを心掛けよう」、「自分から進んで自主的に整理、清掃、整頓、清潔を行おう」ということです。

**Q**：塾長はなぜ「受験生こそ5Sを身に着けよう」とおっしゃるのですか。

**A**：(1)「5S」はもともと企業の成長と地域の発展は人づくりからという考えで、日本国内の多くの企業や地域で「5S」の活動がさかんに行われています。最近ではアジアや欧米だけでなくアフリカを含む世界中で「5S」活動が行われ、企業や地域の発展に役に立っています。

(2)この「整理」「清掃」「整頓」「清潔」「躰」の「5S」の活動は、学校を卒業して社会に出たあとに仕事や社会的活動をするときだけでなく、学校や家庭での生活にも役に立つと私は考えます。

(3)特に受験生は、受験当日が近づけば近づくほどやるべきことが多くなりますので、この「5S」が役に立ちます。そこで、「受験生こそ5Sを身に着けよう」と強く訴えたいと思います。

(4)開倫塾では、学校時代から「5S」に親しんでもらいたい、特に、多忙を極める受験生は「5S」を活用して受験生活を進めてもらいたいと願い、昨年10月よりすべての校舎で「開倫5S学校」をスタートしました。塾生の皆様は開倫塾に在籍している間に少しでも「5S」を身に着け、充実した学校生活、受験生活を送ってください。

(5)一度身に着けた「5S」は高校や大学、大学院に進学してからも、また、社会に出て仕事や社会的活動をするときにも役に立ちます。充実した人生を送る上で必ず役に立ちます。ですから、開倫塾でしっかりと「5S」を身に着けていただきたいと希望します。

**Q**：具体的には何をどうすればよいのですか。一つ一つ例を挙げて「5S」の内容を説明してください。

**A**：「整理」とは、不要なものを捨てようということです。

(1)1日に1回、カバンやバッグ、筆入れの中の要らなくなったものを捨てる。ここから「整理」をスタートしましょう。

(2)学校の机の中やロッカーの中からも不要なものを捨てましょう。

(3)家の自分用の机の上や机の中、本棚などにある不要なものも捨てましょう。

(4)家の自分用の物入れの中にある不要なものも捨てましょう。

(5)自分が使っている部屋の中にある自分の持ち物の中の不要なものも捨てましょう。

\*ゴミなどは自分の判断でどんどん捨ててOKですが、捨ててよいものかどうかは学校の先生や保護者の方とよく相談してくださいね。

**Q**：捨てるものは結構あるのですね。不要なものを捨てたあとはどうしたらよいのですか。

**A**：(1)よい質問ですね。「整理」のあとに行うのが「清掃」、つまり常にきれいにしようです。

(2)カバンやバッグ、筆入れ、机、本棚、ロッカー、物入れの中を「整理」して不要なものを捨てたあとは、常にきれいにする「清掃」を必ず行いましょう。

(3)「整理」で不要なものを捨てたあとは、常にきれいにする「清掃」を行うことが大切です。

心の中まできれいになります。

**Q** : 「整理」し、「清掃」したあとはどうしたらよいのですか。

**A** : (1) これもよい質問ですね。「整頓」してすぐに取り出せるようにしよう、これが答えです。

(2) カバンの中やバッグの中、筆入れの中、机の上、机の中、本棚の中、ロッカーの中、自分の物入れの中のもの、すぐにパツ、パツと取り出せるようにしましょう。一つ一つのをどこにどのように置くか、位置をよく考える。ものは同じところに置くことが大切です。

(3) 使ったものは必ず元の位置に戻すことも「整頓」に入ります。

(4) 鉛筆やボールペンなどは必ず使い切ってくださいね。使い切る前に 1 本だけ補充することも大切です。

(5) この「整頓」が身に着いてくると、ものを探す時間が極端に少なくなりますから、勉強や、そのときにやるべきことに集中できます。余計なものを買わなくなりますから、節約ができ、お金もたまりますよ。

**Q** : 4つ目の「清潔」とは何ですか。

**A** : (1) 「整理」「清掃」「整頓」の「3S」を維持しようということです。

(2) 大切なのは「3S」をやり通す、絶対に中止しない、止めないことです。「継続は力」です。「3S」をやり通せば勉強や仕事の効率がどんどん上がり、成績もどんどん向上します。

(3) カバンの中や机の上、机の中、部屋の中がスカッとして、気持ちよく過ごせます。これが「清潔」です。

**Q** : 5つ目の「躰」とは何ですか。

**A** : (1) 「躰」とは、決められたことをきちんと守ることを心掛けようということです。みんなで決めたことはみんなで守ること、ルールの中でプレイをすること、卑しい行動はしないことが大切です。

(2) 自分から進んで自主的に「5S」に取り組もうということです。いやいや、無理矢理では「5S」は長続きしません。自分の意志で、自分のためにみんなのために「5S」を行いましょう。

**Q** : 学習塾・予備校・私立学校の経営幹部の先生方にお伝えしたいことはありますか。

**A** : このように、足利市では小学校・中学校・高校・大学で 5S 活動が極めてさかんです。5S で学校中がピカピカになりますので、是非、挑戦を。

**Q** : 最後に一言どうぞ。

**A** : 5S を考える場合、改善活動は避けて通れません。その基本となるのが、デミング博士の喜びをもって働く (Joy of Work) 生産性向上の取り組みです。W.Edwards Deming 著「The New Economics — For Industry, Government, Education」MIT press,1997 年刊を是非、御一読ください。デミング先生は「教育機関」も対象としています。

— 2014 年 11 月 9 日 林明夫記 —